

2014年度のテーマは
『もっとながる』です

京都精神保健福祉士協会 10月例会 ②

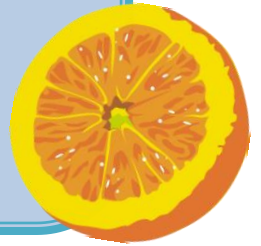
認知症の基礎を学ぶ

～PSWとして知っておきたい、関わりとサービスのしくみ～

2014年10月24日(金) 19:00～21:00

場所：キャンパスプラザ京都 第一会議室

申込不要 参加費：会員無料 非会員500円

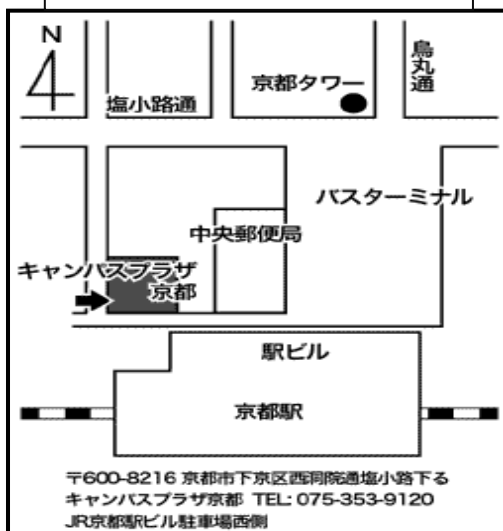


高齢化が進み、認知症およびその予備軍と考えられる方は65歳以上の方のおよそ4人に1人、全国で400万人を既に超えていると言われています。みなさんの普段の関わりでも、認知症により精神科医療が必要となった方や、もともと精神障害を抱えていて認知症を発症された方、そして仕事以外でも家族や近所の方など、どんどん身近な存在になってきているのではないかと思います。また、これまで障害福祉制度を利用していた方が65歳になって突然介護保険制度に切り替わって戸惑っている、という例も多いかと思えます。

認知症についての研修や講義はいまやあちこちで行われておりますが、今回の例会は、「認知症に関わる精神保健福祉士が、その立場で学んだことや関わっている実践について伝える場」というコンセプトで行います。一人でも多くの方に認知症の方について知っていただき、よりよいケアができる社会になってほしいとの想いをこめて企画いたしました。

～プログラム～

キャンパスプラザ京都への地図
(京都駅から徒歩3分程)



「認知症の理解と接し方について」

いわくら病院 川上尚子さん(認知症治療病棟担当・認知症ケア専門士)

「認知症の人への精神科医療について」

宇治おうばく病院 福徳理恵さん(認知症疾患医療センター担当)

「介護保険制度について」

成逸地域包括支援センター 上林里佳さん(社会福祉士・精神保健福祉士)

「新しい取り組み

～認知症初期集中支援チームと認知症カフェについて～

京都府立洛南病院 山内陽子さん(認知症疾患医療センター担当)

みなさまのご参加お待ちしております！！